

校 友 だ よ り

ベトナムホーチミン日本語教師体験

秋田県支部幹事長 阿野広美

1. はじめに
(帰国後、外国人労働者の実態を知ること)

昨年5月20日(7月20日)にホーチミンで日本語教師体験をした。帰国後から急にマスコミ、国会等で技能実習生の問題が出てきた。

帰国後、連日外国人労働者・技能実習生等の実態について明らかになってきている。再度振り返り情報収集して、国際貢献ではなく、単純労働者(法律では労働者と見做すことは厳禁とあるが)として多くに課題(人権侵害、国の外国人政策等)が山積していることに今頃気がついたのである。

1年が過ぎ、私はどうしたらよいか? 再度ベトナムに行こうと考えている。
2. なぜベトナムに行くことになったか
退職後、シルバード海外協力隊も考えたが、昨年3月に広島馬場氏(昭和50年度第9回総理府青年の船団員仲間、警察退職後日本語教師で活躍中)の誘いが縁で、日本語教師としてホーチミンに行くことになった。

3. ベトナムでの意気込み
送り出し機関への履歴書に「郷に入れば郷に従う。その土地の人々に声をかけていただける、学生であれば私を受け入れてい

ただける気持ち・態度・努力をその接した方々から学びたい。技能実習生(以下「学生」)には、学びの意欲を鼓舞できるような教育者を目指す。同時に、その土地の人々と絆をつながっていただけるよう最善をつくしたい」と書いて、約70日間、すっかりベトナム人になり、現地人とも大交友。学生に認められるよう尊敬されるよう頑張った。公僕時代の社会教育職のノウハウが大いに発揮された。が、技能実習生の実態が分かるにつれ...

4. 日本人教師への期待
約80日で日本に送られる学生は、ベトナム人教師からテキストで学ぶ。日本人教師は、会話を期待され、テキストはなしであったが、90分、190分授業で退屈しないように、学生と相談しながら授業を進めた。ワークシヨップ・日本の歌・折り紙・席替え・ロールプレイング(私と友達になつて下さい)・日本料理体験等。6クラス程約150人受け持った。楽しかった。日本でくじけないようにみんなで頑張ったが?

た。学生からは、手紙を全員から書いていただいた。宝である。

(贈る言葉)

①感謝の心。親・家族・会社・友達、そして自分。すべての人に「ありがとう」「おかげさまでした」の心を持ちましょう。
②チャンスは、待たないでつくりましょう。
③いつも笑顔にしましょう。
④日本人の友達を必ず5人以上つくりましょう。
⑤困ったときは、「すみません、教えてください」と言いましょう。
⑥「あいさつ」や「へんじ」は、進んで大きな声でしましょう。
⑦「まごころ」と「おもいやり」(忠恕の心)を大切にしましょう。
⑧自分の力を信じましょう。
⑨悪い道にいかないでください。

5. 贈る言葉
90日の予定が、70日で帰国となり(右目が見えず、帰国後黄斑浮腫と診断。今も治療中)、帰国間際受け持った学生全員に左記の言葉を贈った。ベトナム人教師に翻訳してもらった。



6. 現地人の友情
散歩や食事で多くのベトナム人と交友。7人程(日本語や英語ができる人)の方と、深く強く繋がった。バイクであちこち見物。リーとは、1泊2日で「有名なプンタオの旅」。だから学生には映像と会話で日本人の友達を必ず5人以上つくるよう伝えた。日本人は自ら人に声をかけない。でも優しいんだよ。日本人のアジア人蔑視を、後で内外の方から聞いて悲しくなったが。

7. 終わりに
技能実習生は、転職できない。学生は面接で会社を選べない。
昨年10月の厚生労働省の報告では、受け入れ企業の約7割に労働法規違反があり、指摘された事業所は4千を超える。違反内容は多い順に、労働時間、安全基準、割増賃金、衛生基準で、違反が重複している。ブラックな企業もある。外国人というだけで、差別はないか。「奴隷制度」や「人身売買」という国際的難題が起きている。日本の評価を下げて、いこうか。

再度、日本語教師として赴任して強靱な学生にできるだろうか。
受け持った学生の一部とフェイスブックで繋がっているが、心配である。
全国の日大通教の仲間の皆様、外国人にご自分から声をかけて心に支えになつてくださるよう、企業に関わる皆さん、ブラックにならないよう声掛けをお願いします。

ヨーロッパを歩く(32) ヴェルサイユ宮殿(2)

相談役 小西長之助



1987年11月24日の10時過ぎにヴェルサイユ宮殿の建物内に入る。入場料は、国王・王妃の居室ガイド付き見学を含め、41フランスフラン(約1025円)。
最初(王の内庭)の右側に延びる宮殿の北翼と、正面の正殿との間にある(王室の礼拝堂)へ行く。ここは、王族たちの婚礼儀式がしばしば行われたところ。王太子時代のルイ16世とマリー・アントワネットの婚礼もここで行われたという。

天井には、天使たちが雲間に坐し、それを囲む四方の鴨居の部分に、天使たちを響かすための金の銀の豪華な容器を整えている。当時この部屋で貴族たちには、天井画のような豪華な容器で飲み物などが振る舞われていたという。
続いて(ウィーナスの間)へ。天井に、神々の精霊を従えたヴィーナスが描かれており、この部屋の名もこの絵に由来しているという。壁際には、若き日のルイ14世像が置かれている。



パリ・ノートルダム大聖堂 (撮影:小西長之助)

ヨーロッパの宮殿の中を見るのはルーヴル宮に次いで二度目だが、この豪華さや贅沢さにはさすがに驚いた。今まで見てきたどの部屋も、天井いっぱい絵が描かれている。壁面にはとてつもなく大型の王族の肖像画や巨匠の名画が所狭しと飾ってあり、さながら大美術館のよう



※画像はイメージです。

だ。さらに贅を尽くした室内装飾、家具、調度品などがあつて、大革命が起きたのは当然だったような気がする。
それにしても200年ほど前まで、歴史上の人物、太陽王ルイ14世やマリー・アントワネットたちがこの館で生活し、貴族や貴婦人たちが出入りしていたかと思うと、ひしひしと歴史の重みを感じる。
(ヴィーナスの間)に続く(ディアナの間)の天井には、月の女神ディアナの像が描かれている。ここは玉突きの名手だったルイ14世が、玉突きのために使っていた。部屋の中央にあった玉突き台の周りに、豪華なベルシャ絨毯を敷いた観覧席があつて、貴婦人たちがゲームを見て楽しんでいったという。
つぎの(マルスの間)は、

◆◆記事の訂正◆◆
会報第92号5面掲載の「ヨーロッパを歩く(30)」に誤植がありました。3段目2行目の「ルーヴル美術館」は「ルーヴル美術館」に、また5段目12行目の「取り合った」は「撮り合った」に、それぞれ訂正しお詫びいたします。

町まぢの文字 (36)
看板
京都・寺町通りにある額と看板を制作する彫刻師の店の看板。
やや誇張して書かれた隷書は優雅であり、ふと注文したくなるような魅力のある文字である。
香川県支部 小西長之助

金子栄輔
日本大学通信教育部校友会 副会長
日本大学通信教育部校友会 関東ブロック長
日本大学通信教育部校友会 東京都支部支部長
〒179-0074 東京都練馬区春日町三十九-1
電話 〇八〇-五〇三二二四六七

吉村益吉
日本大学通信教育部校友会 副会長
取締役会長
特急はんや有株式会社
本店 下関市南都町二六の一六
電話 〇八三-二二二二七〇
電話 〇八三-二二二二七〇
FAX 〇八三-二二二二六六〇〇

川熊長子
日本大学通信教育部校友会 監査
東京都支部 顧問
〒270-2261 千葉県松戸市常盤平西窪町二二-15
電話 〇四七-三八八〇六二八

北村周之
日本大学通信教育部校友会 会計
目黒日本大学中学校・高等学校 評議員
〒162-0813 東京都新宿区東五軒町六一-三四
携帯 〇九〇-一六一五二六五一

田添正
日本大学通信教育部校友会 副幹事長(幹事長代理)
日台親善協会 事務局長
日本大学通信教育部校友会 副幹事長
〒251-0872 神奈川県藤沢市立石二二五-17
携帯 〇九〇-二二八〇二八五四
E-mail: tada\_tazo\_749@tha.t-comu.ac.jp

村田義和
日本大学通信教育部校友会 副幹事長
日本大学通信教育部校友会 山口県支部顧問
〒747-0341 山口県山口市徳地引谷七九九
TEL 〇八三-一五五六〇七三六
携帯 〇九〇-一三三三〇五二四